

宮城県感染症発生動向調査情報(第16週)

宮城県【平成27年04月23日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

— 2015.4.13 ~ 4.19 ・ 第16週 —

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第13週	第14週	第15週	第16週
水痘	6 1.20	1 0.10	1 0.20		2 0.67	1 0.20		12 0.44	23 0.39	625	○→	レ→	→	
流行性耳下腺炎		2 0.20	1 0.20					8 0.30	11 0.19	119	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	28 5.60	43 4.30	30 6.00	22 11.00	29 9.67	25 5.00	4 2.00	153 5.67	334 5.66	8,553	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	5 1.00	1 0.10						6 0.22	12 0.20	186	○→	レ→	→	
伝染性紅斑	9 1.80	8 0.80	11 2.20					19 0.70	56 0.95	808	○→	レ→	→	○
突発性発しん		3 0.30	6 1.20		2 0.67	4 0.80	4 2.00	23 0.85	42 0.71	477	○→	レ→	→	○
ヘルパンギーナ										13	→	→	→	
インフルエンザ	9 1.13	29 1.93	5 0.63	1 0.33	4 0.80	50 6.25	2 0.50	43 0.98	143 1.51	19,045	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱		5 0.50		1 0.50		4 0.80		8 0.30	18 0.31	232	レ→	→	→	
流行性角結膜炎		2 0.67	2 2.00			1 1.00		2 0.33	7 0.58	47	→	→	→	
急性出血性結膜炎										1	→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31 6.20	20 2.00	4 0.80	1 0.50	1 0.33	8 1.60		97 3.59	162 2.75	2,294	◎→	◎→	○→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)										1	→	→	→	
無菌性髄膜炎										3	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00			2 2.00	1 0.20	5 0.42	114	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		2 0.20						3 0.11	5 0.08	313	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1		3		1		1	3	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病									《週報の詳報》宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html				
	不明発疹症		1						4					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			3					1	4	60				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群 (%)	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第14週		19.9	33.2	12.8	3.3	3.3	6.6	12.3	3.3	2.4	0.9	1.9	211
第15週		29.1	34.0	6.4	1.4	5.7	7.1	1.4	8.5	5.0	0.7	0.7	141
第16週		23.1	30.1	24.5	0.0	4.2	4.2	4.2	3.5	2.8	1.4	2.1	143

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第14週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ：定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では岡山県(5.18)、高知県(4.92)、沖縄県(4.90)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(5.11)、石川県(4.90)、山口県(4.06)が多い。感染性胃腸炎：定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では大分県(16.47)、福岡県(10.98)、石川県(10.62)が多い。水痘：定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では熊本県(0.98)、神奈川県(0.93)、山口県(0.90)が多い。伝染性紅斑：定点当たり報告数は第9週以降増加が続いている。都道府県別では東京都(0.95)、福岡県(0.92)、埼玉県(0.88)が多い。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)：定点当たり報告数は増加した。44都道府県から274例報告があり、年齢別では0歳(30例)、1~4歳(205例)、5~9歳(37例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字:定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満

2類感染症: 結核
石巻管内 男性1名、女性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 男性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 梅毒
仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[伝染性紅斑]
大崎、気仙沼管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第13週採取分 アストロウイルス 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第14週採取分 (3.30~4.5)	第15週採取分 (4.6~4.12)	第16週採取分 (4.13~4.19)
パラインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件
ヒトメタニューモウイルス	3件	0件	0件
アデノウイルス	1件	0件	0件

[インフルエンザ]

県全体の患者報告数は減少していますが、石巻管内では患者数が増加し、医療機関からはインフルエンザウイルスB型の報告があります。小中学校の学級閉鎖もみられることから、引き続き日常的な予防を心がけてください。

[A群レンサ球菌咽頭炎]

高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とするA群レンサ球菌による上気道感染症で、春から初夏にかけてと冬季の2つの時期をピークとして流行がみられます。特に学童期の小児に最も多く、学校や家庭などの集団での感染も多く、ヒトヒトの接触機会が増加するとき罹患しやすくなります。今週、仙台管内で患者数増加がみられましたので、今後の動向に注意が必要です。

